

「作品鑑賞と人間関係」

副校長 長友 亨元

夏の暑さが幾分か和らぎ、少しずつではありますが、朝夕の風に秋の気配を感じる季節となりました。34日間の夏休みを終え、学校に生徒たちの元気な声が戻り、教室や校庭に活気があふれています。

私は、夏休み中に、八王子市内の美術科の先生方とともに、研修に参加し、東京都現代美術館を訪れました。そこでは、コミュニケーションを重視した作品鑑賞を通じ、生徒の主体的で対話的な学びを育むことについて学びました。その中で、学芸員の方から鑑賞をする上で、3つのポイントがあることを教わりました。

1つ目は「よく観察すること」。作品を丁寧にみることで、細部に宿る工夫や作家の思いに気づかされます。じっくり時間をつかって、作品に近づいて細部に注目してみたり、距離をとって全体を見たりして、作品の隅々を意識して見ていると、多くの発見に気づきます。また、これまで、いかに自分自身が作品を鑑賞することに対して、見たつもり、わかったつもりだったかということに気づかされます。

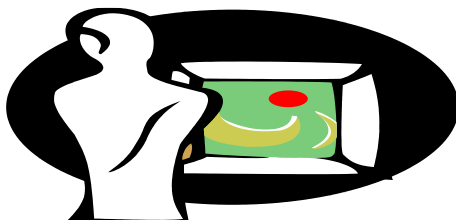
2つ目は「想像力を働かせること」。「作者にとって、この色彩、かたち、表現技法には、どんな意味があるのだろう」「表現されている人物は、何を言おうとしているのか」「なぜ、作者は題材にこれを選んだのだろう」などと、想像してみます。すると、自分自身の知識や経験と照らし合わせながら考えていることにも気づかされ、作品がより自分にとって身近になったような気がします。

3つ目は「感想や意見を共有すること」。同じ作品を鑑賞しても人によって受け止め方は千差万別です。自分の感じたこと、思ったことなどの感想をお互いに語り合う中で、自分にはなかった新しい視点に出会うことができたりします。

これら鑑賞の3つポイントを意識しながら、私自身も美術館の作品を鑑賞していく中で、ふと気づかされたことがありました。3つのポイントは、美術作品に対してだけではなく、人と関わるときにも共通して大切なものではないかと。人間関係に置き換えて考えてみると、「よく観察すること」…相手の表情や言葉、仕草などをよく観察し、丁寧に受け止める。そして、「想像力を働かせること」…相手の思っていること、考えていることを相手の立場になって想像する。さらに「感想や意見を共有すること」…お互い尊重しながら、感じたこと、思ったことを素直に伝え合う。

作品鑑賞時と同様、人と接する上でも、この3つのポイントを意識できると、お互いの理解が深まり、よりよい人間関係を築いていくことにつながるのではないのでしょうか。また、こうした姿勢は、学校生活だけでなく、ご家庭でも活かすことができると思います。お子さん、家族の様子をよく観察して、気持ちを想像して思いやり、お互い感じたことを言葉にする時間は、さらに家族の絆を深めていくことにつながっていくことと思います。

また、この2学期は、学校行事の合唱祭をはじめ、1年移動教室、2年職場体験、3年修学旅行が予定されています。人との関わりの中で、お互い学び合い、支え合い、称え合いながら、生徒たちの大きな成長が期待できる絶好の機会となります。教職員一同、生徒一人ひとりに対して、人との関わり方を大切にしたい指導を心がけ、生徒同士、教職員共々、よりよい人間関係を築き上げながら、成長できるよう支援してまいります。保護者や地域の皆様には、今後ともご理解とご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。



「スマートフォンについて考える」

現在、愛知県豊明市では、余暇時間のスマートフォン等の使用目安として「1日2時間以内」を推奨し、小学生以下は午後9時まで、中学生以上は午後10時までを家族で決めてもらうよう提案する条例案が進められています。これは、賛否もあり、専門家からはエビデンスに基づく説明や丁寧な議論が必要だという声もあります。また、先日、文部科学省より、子どもの学力の変化をみる国の「経年変化分析調査」(2024年度)の結果が公表され、2021年度と比べると成績の下げ幅が大きかったことがわかりました。識者や省内に「深刻な結果」との認識も広がっています。成績が下がった要因については「明確に示せない」としていますが、保護者の質問調査の結果によると、子どもがゲームやスマートフォンを使う時間が前回より増え、学校外の勉強時間が減っていたそうです。

スマートフォンは使い方によっては、学習にも役立てることができる便利なものですが、SNSや動画視聴、ゲームばかり多くの時間を費やしてしまうとなると学習面、さらには日常生活に大きな支障がでてしまいます。AndroidでもiPhoneでも自分がどのアプリをどのくらい利用しているかをチェックする機能が標準でついていますので、是非一度、1日あたり、または1週間あたり、どのくらいの時間をスマートフォンに費やしているのか、さらには、「スマホ依存」になっていないかをご家庭でお子様と一緒に調べてみることをおすすめいたします。

1日は、どう使っても24時間。毎日の時間の使い方は、お子様の将来につながっていきます。是非、各ご家庭で、スマートフォンの正しい使い方、ルールを考える機会を積極的に設けていただけたら幸いです。

「災害時情報伝達訓練 9/1(月)実施について」

学校教育活動中の災害発生時に保護者が生徒の安否等を確認する方法である学校ホームページの「災害時情報掲示板」および「災害用伝言ダイヤル」を利用した情報伝達訓練を実施します。

【学校ホームページ災害時情報掲示板訓練】

日時:9月1日(月)10:00~15:00

内容:災害時を想定して、学校ホームページのトップページが「災害時情報掲示板」に切り替わりま
すので、表示された内容をご確認ください。

【災害伝言ダイヤル訓練】

日時:9月1日(月)10:00~

内容:災害発生により通信が困難な状況になった場合に NTT 東日本により提供される声の伝言
板「災害用伝言ダイヤル」を利用して生徒の状況をお伝えしますので、伝言をお聞きください。

「学校にスマートフォン2台配備 9/1(月)より利用開始」

 070-1173-4291

 070-1173-4292

今後、この番号からご家庭へ連絡する場合がありますので、2回線とも南大沢中学校の電話番号としてご登録をお願いいたします。原則、ご家庭から学校へ連絡をする際は、これまでどおり、固定電話へおかけください。校外での教育活動時に、本部連絡先として活用する場合があります。その際は、事前指導にて周知いたします。本校固定電話の留守番電話機能設定時間同様、平日は午後6時30分から午前7時30分の間、土日祝は、終日対応しかねます。予めご承知おきください。

祝 南中生の活躍



 女子硬式テニス部

令和7年度多摩地区中学校テニス大会(団体戦)優勝!【26年ぶり2回目の快挙】